

目 次

・ 委託業務成果報告（総括）

NSAIDs 不耐症におけるブレイクスルーを目指した病因・機序の解明、
および、NSAIDs 誤使用ゼロを目指す具体的対策の実行に関する研究

谷口正実 …………… 1

・ 委託業務成果報告（業務項目）

➤ 各種研究発案、検体集積、各種解析ならびに実験のアドバイス、および NSAIDs 誤使用対策の発案と実行

1. AERD の難治化機序(発症機序)解明のための研究

谷口正実 …………… 17

2. AERD では特異的に血小板が活性化している

谷口正実 …………… 21

3. AERD の病態における好塩基球の関与

谷口正実 …………… 25

4. シクロオキシゲナーゼ(COX)2 活性化刺激である喫煙は AERD の発症を抑制する

谷口正実 …………… 29

5. AERD における Omalizumab の効果と効果発現機序の解明

谷口正実 …………… 33

6. NSAIDs 過敏症における NSAIDs 誤使用の実態と NSAIDs 誤使用ゼロに向けての対策

谷口正実 …………… 37

➤ プロスタグランジン関連研究へのアドバイス

7. アスピリン喘息とプロスタグランジン代謝 文献的考察と今後の展望

成宮 周 …………… 39

➤ Lipidomics 解析とその研究指導、脂質メディエーター、ロイコトリエン関連研究へのアドバイス

8. 呼吸器疾患患者尿中エイコサノイドの一斉測定

清水孝雄 …………… 43

➤ NSAIDs 不耐症患者の遺伝的背景解明	
9. アスピリン喘息の遺伝的背景(遺伝子多型の検索)	玉利真由美 …………… 49
➤ 好酸球性鼻茸におけるプロテオーム解析と特異的蛋白の機能研究	
10. アスピリン喘息患者における難治性鼻茸メカニズムに関する検討	藤枝重治 …………… 53
➤ NSAIDs 不耐症鼻茸培養細胞のエイコサノイド産生異常と持続ウイルス感染実験	
11. 鼻茸細胞の黄色ブドウ球菌 トキシンに対する応答性と NSAIDs 過敏症との関連	岡野光博 …………… 59
➤ 正しい負荷試験のさらなる研究、臨床像研究、患者遺伝子検体提供、NSAIDs 誤使用対策研究	
12. アスピリン喘息患者におけるアスピリン負荷試験の血清中のメディエーターの検討	磯谷澄都 …………… 63
. 学会等発表実績	…………… 67
. 研究成果の刊行物・別刷一覧表 (別冊)	